

キーワード	Y1	材料・材質・部品	Z4	電力	S3	ZEB/BEMS
					D	建設業

株式会社 日建設計

自然環境を享受する木のオフィス

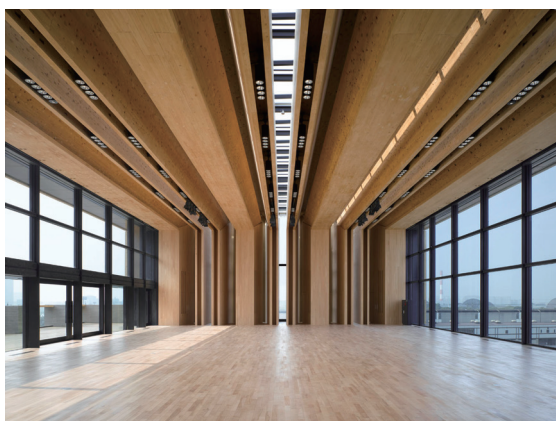
特徴

日本は古来より「木の文化」をもっています。しかし、近代以降、都市化が進むにつれて市街地での木材使用が困難になっています。このプロジェクトは、都市建築における木材利用の可能性を開く試みです。

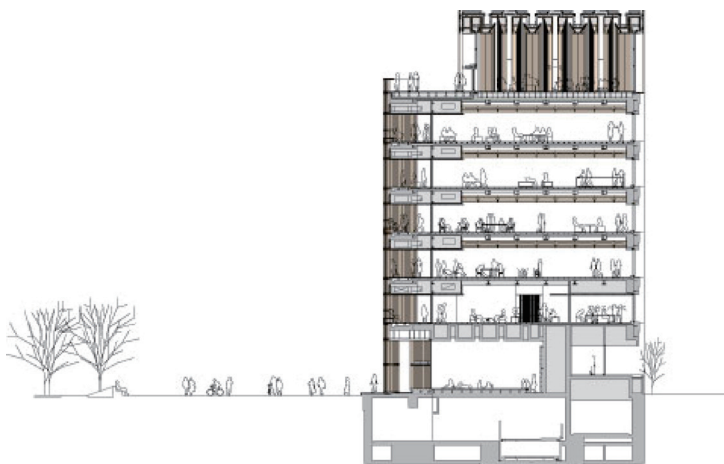


概要 or 原理

木材会館は、高温多湿で日射が厳しいという「日本の風土に即した建築」を目指したプロジェクトです。建物は、矩形のワークスペースの周囲に、構造・設備・エレベータなどを方位に則して配置した、二重の構成になっています。特に日射負荷の大きい西側は木製のテラスを設け、外部環境に対するバッファーとしています。彫りの深い外装は、現代の「縁側」として、日射しや雨を遮り、中間期に快適な半屋外空間を提供します。全面を引き戸とすることで、縁側に入りしたり、自然の風を取り込んだりすることもできます。自然環境を「制御」するのではなく「享受」することで、人びとと風土との関わりを生み出したと考えました。



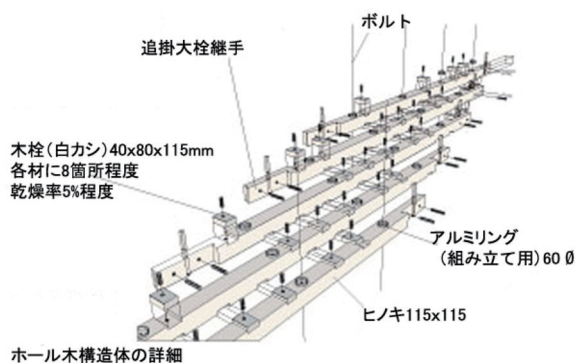
最上階のホール。約30mスパンの木造架構。



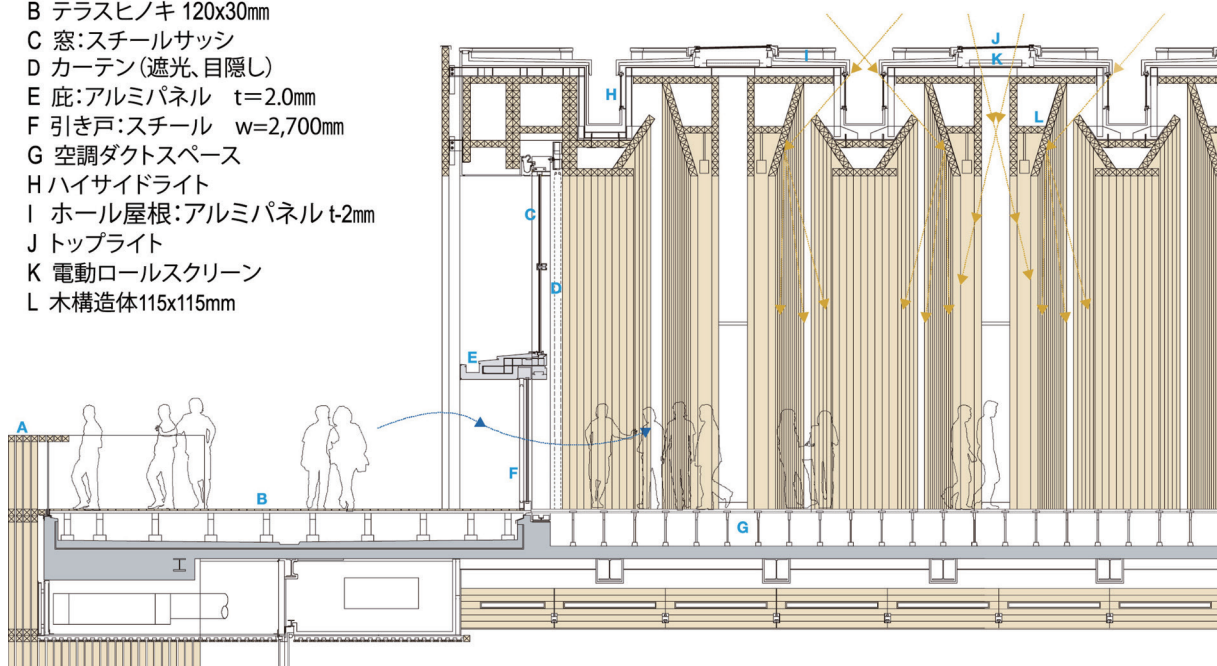
断面図

省エネ効果 & 特記事項

建物は敷地に建つのみならず、社会の中に存在しています。これまで、都市建築では木材の使用が限られてきましたが、法規や技術の検証を重ねることで、不燃化しない無垢の木材を用いる道を切り開きました。加えて、市場に流通する120mm角のヒノキ材を用いることで、経済的に木材を用いつつ、600tを超えるCO2を固定することができました。この試みを通じ、オフィスを木の香りで満たすと共に、国産材の新たな需要を切り開くことを企図しています。



- A 手すりヒノキ, 115x115mm
- B テラスヒノキ 120x30mm
- C 窓:スチールサッシ
- D カーテン(遮光、目隠し)
- E 庇:アルミパネル t=2.0mm
- F 引き戸:スチール w=2,700mm
- G 空調ダクトスペース
- H ハイサイドライト
- I ホール屋根:アルミパネル t=2mm
- J トップライト
- K 電動ロールスクリーン
- L 木構造体115x115mm



導入実績または予定

- 国内
- 木材会館
 - 第9回環境・設備デザイン賞ー優秀賞/B E賞
 - 2011日本建築学会作品選奨
 - ミピムアジアアワード 2009 - 審査員特別賞



コンタクト先 株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋2-18-3
 電話番号：03-5226-3030 Fax番号：03-5226-3058
 HPのURL・問い合わせ先：http://www.nikken.co.jp